

木々の葉も美しく色づき、すっかり秋も深まってまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年10月よりわをん通信を始め、今号で記念すべき1周年を迎えました。

1周年を記念して、弊事務所所属の弁護士4名に①弁護士になった理由、②休日の過ごし方をインタビューしました。秋の夜長、皆様のお暇つぶしになれば幸いです。

弁護士 和田慎也

1 なぜ弁護士になろうと思いましたか

僕の父親は普通のサラリーマンでした。父の属する「団塊の世代」では普通だと思いますが、大学卒業と同時に入社した会社で、中間管理職として定年まで勤め上げ、その間、2度転勤があり、その都度僕も転校をしました。小さな頃は父の背中を見ながら大人はそれが普通だと思い、漠然と自分も同じようになるのかなあと考えていましたが、高校生になり、自分自身をある程度客観的にみられるようになると、父と同じ生き方は自分には向かないかもしれないと思うようになり、無意識のうちに父親と違う生き方を積極的に求めるようになっていました。特に、組織の一員としてではなく、個人として専門的な技能を介して社会と「向き合い」かつ「つながる」、そういう生き方にあこがれるようになりました。



大学では、友人に誘われて入ったサークルで障害者の方と交流するボランティアを行ったり、大学3回生の頃に阪神大震災直後の神戸でボランティアとして活動したり、あとは日本全国を貧乏旅行して、その土地その土地の人と交流する機会を多く持ったりという経験をしました。その中で、生身の人間を相手にし、しかも、いろんな価値観がぶつかり合う現場に身を置いて仕事をしたいと思うようになりました。その現場に身を置いていけば、「人間」や「社会」の正体をよりよく捉えることができるのではないかとも思いました。



そのような仕事は何だろうと思っていきついたのが「弁護士」でした。それで、具体的に弁護士を目指すようになりました。

2 休日の過ごし方を教えてください

僕は、休日朝早く自然に目が覚めます。目が覚めて、「今日は仕事がない→好きなことに時間が使える」と思い、ほっとすると同時にワクワクしてくる瞬間が好きです。

起床から起き出した後は、子どもや妻が起きてくるまで、その時点で気にかかっていることを取り留めもなく1つ1つ処理していきます。たとえば、平日ゆっくり読めないままたまっている新聞を引っ張り出してきて、一通り目を通し、気になる記事と書籍広告を切り抜きます。また、RSSを使って収集しながら読まないままになっていたブログの最新記事に目を通したり、読みかけの本をまとめて読んだりします。「気になっているけど手が付けられていない」というものが減ること自体が気持ちいいのかもしれませんが。

子どもが起きてきてからは、ほぼ子どものペースで休日は過ぎていきます。最近、子どもたちは囲碁や将棋、その他のゲーム（ボードゲームなど電源を使わないもの）に興味を持ち出していますので、よく相手をします。近場の海に釣りに行ったり、公園で野球をすることも多いです。



僕の家族4人の共通点は、歴史好きというところです。そのため、休日の締めくくりは、毎週日曜日の夜に大河ドラマを家族全員で鑑賞することです。家族の食卓での会話も、大河ドラマの登場人物やおもしろかったシーンについての話題が多いです。歴史物の映画が公開されたときは、家族全員で映画館に出かけます。最近は岡田准一主演の「関ヶ原」を見に行きました。

弁護士 田保雄三



1 なぜ弁護士になろうと思いましたか

私は、自分で言うのも何ですが、ある程度恵まれた家庭環境で育ったと思います。ただ、それだけに、苦労知らずというか、打たれ弱いところや、世間知らずだったり、人に何か言われても言い返せないところがあり、子どもの頃いじめられたこともありました。このように、少年時代、我ながら「自分は世間知らずのお坊ちゃんだ」という自覚があったんです。このまま大人になれば、いずれ悪い人に騙されたりして人生を踏み外すんじゃないかというような強迫観念のようなものがあったんですね。弁護士というのは社会の仕組みを知っていて、いろんなだましの手口にも対処できて、最強の職業じゃないか、という子どもながらのイメージがあったんです。弁護士になれば悪い人に騙されたりしないだろうし、悪い人に陥れられて虐げられている人の手助けもできると。それがきっかけ

で、高校生くらいからだんだん弁護士を目指すイメージが固まっていったような気がします。多分にテレビドラマのイメージもあったと思いますが（笑）。

2 休日の過ごし方を教えてください

私は、休日は仕事のことを考えず、意識的に休みを満喫するようにしています。もともとテニスが趣味なのですが、子どももできたりしてなかなか最近は日中にテニスに出かけることもしにくくなりました。そこで編み出したのが、早朝での河川敷でのテニスの壁打ちです。早朝5時頃に起きて、河川敷に行き、橋桁のコンクリートの壁に向かってひたすら球を打ち、納得がいくまで練習します。早朝だから涼しくて爽やかで気持ちいいし、人も少なくいいことづくめです。おまけに家族も寝ているので家にいなくても苦情も言われません（笑）。そうやって朝から汗を流し、シャワーを浴びてから一日を始めるようにしています。早朝の運動は、健康的だし、ストレス解消にもなりますね。



弁護士 深水周子

1 なぜ弁護士になろうと思いましたか

私は、昔から自分が納得できないことは絶対にやらない子どもで、よく言えば意思が強く、悪く言うと集団行動に向いていない自覚がありました。この性格だと、何か資格を取って、自分の腕一本で生きていくような仕事をした方が人様のお役に立てるんじゃないか、それなら医者か弁護士…と（やや短絡的に）考えはじめたのが弁護士を目指したきっかけです。

人間が何を考え、どのような行動をするのかに興味があったので、一時期は精神科医を目指そうと思っていました。ただ、血が苦手な上に、物理と科学が大嫌い（数学は大好きでした）だったため、おそらく医者への道は自分にとって苦行以外のなにものでもないと考えて断念。たまたま、親戚に女性の弁護士さんがいて、女性弁護士という響きにあこがれを持つようになったのが、弁護士を目指す決め手になりました。



2 休日の過ごし方を教えてください

ここ2年はほぼ毎週ホットヨガに通っています。たった1時間のレッスンですが、その時間ほぼぶっ続けでポーズを取り続けるため、終わった後は、いつもへとへと。ただ、その分、体も頭もすっきりしていいリフレッシュになっています。ヨガを初めてそれまでひどかった肩こりがかなり緩和され、体も柔らかくなりました（150°くらいまで開脚ができるようになったので、年内に180°を目指します!）。

また、とにかく自分の家が大好きなので、ランチに行く以外は、基本的に家にこもります。部屋を片付けて、新聞を読んだり、読書したり、録画していたテレビを見たりして、いつの間にかソファでお昼寝…というのが至福の時です。



弁護士 小山裕太

1 なぜ弁護士になろうと思いましたが

私の家庭は、母子家庭で経済的にも非常に苦しい環境で育ちました。ボロアパートで家族5人が生活し、自分の物など一切買わず、お金で苦労する母を見て、将来、母に楽をさせてやりたいと思い、ある程度経済力を得られる職業に就きたいと考えていました。子どもながらに医師か弁護士は経済力を得られる職業だというイメージがあったので、子どもの頃の「将来の夢」は医師か弁護士と答えていたと思います（笑）。中学生の頃は、パイロットに憧れた時期もありましたが、高校の時に目が悪くなって、パイロットは断念し、また理系科目の成績がとてつもなく悪く（物理は30点以上取ったことがありません）、理系に進むことができなかったのも、「将来の夢」として弁護士が残りました（笑）。消去法的に弁護士が残ったようにも見えますが、その後、法学部に進み、法律に詳しくなれば、自分と同じような境遇に



いる人の手助けができ、また自分であれば社会的に弱い立場にいる人の気持ちに立って仕事ができると思い、積極的に弁護士を目指し始めました。



2 休日の過ごし方を教えてください

私は、休日は必ずどこかに出掛けることにしています。せっかくの休みなので、一日中ダラダラ過ごしたい気分になるときもありますが、家の中で一日過ごして、窓の外が暗くなり始めると、何もしなかったことに絶対に後悔するので、無理やりにでも出かけます。特に、田舎の道の駅や高速のサービスエリアが好きで、少し遠出をしてドライブすることが多いです。最近は、出掛ける場所もネタ切れになってきたので、近所の大型ショッピングモールの時もありますが、とにかく外へ出かけることで、気分転換をはかっています。

最近嬉しかったこと

次男は今年の夏、自由研究として「大きな水鉄砲を手作りする！」と宣言。そして、当然のように私を助手に指名。2人でホームセンターに行って塩ビ管を材料に選び、加工と組立てを行いました。水漏れ防止とピストンのスムーズな潤滑がうまくいかず、次男は苦戦していましたが、最後には金色に塗装したオリジナル水鉄砲を完成させ、さらに作成過程の写真を貼ったレポートも作っていました。次男の粘り強さに感心するとともに、その成長が嬉しくなりました。その後、次男の作品は市の作品展に出品されることになり、次男も私もビックリ！次男は今から「来年は何を作ろうかな」と言っています。当然、その時も私が助手に指名されそうです…。



先日、ある依頼者の方から「心療内科より先生と話をしているほうが心が楽になります」という言葉を頂きました。弁護士への相談は時として人生相談ですが、単に「法律家として」だけでなく、「人として」依頼者の方のお役に立てたと実感できる瞬間は、仕事の上で大きな励みになる瞬間です。

また先日、第二子となる息子が誕生し、赤ちゃんを見ているだけで最近幸せです。上のお姉ちゃんがわかりやすく赤ちゃん返りして、父親の私から離れたがらないのも、「困ったなあ」と言いつつ最近嬉しかったことの一つです（笑）。



最近長年の夢だった囲碁を始めました。といっても、独学で、練習相手は専ら携帯電話にダウンロードした囲碁アプリのため、なかなか上達しません。ただ、最近ようやく対局中自分が勝っているか負けているか（主に負けていますが）だけは分かるようになってきました。ちょっとした成長を実感でき、密かに喜んでいます。今後もめげずに続けていきたいと思います。



最近、1年かかった事件が解決しました。そのとき、依頼者から「寒い時も 暑い時も 横にいてくださり とても心強かったです。」とメールを頂いたのですが、さすがに込み上げてくるものがありました。

あとは、5月に生まれたばかりの子どもが、笑いかけると笑い返してくれるようになったり、声をあげて笑うようになったりと、日々成長していることがとてもうれしいですね。

それと仕事終わりのビールを飲む瞬間が何より嬉しいです（笑）。

